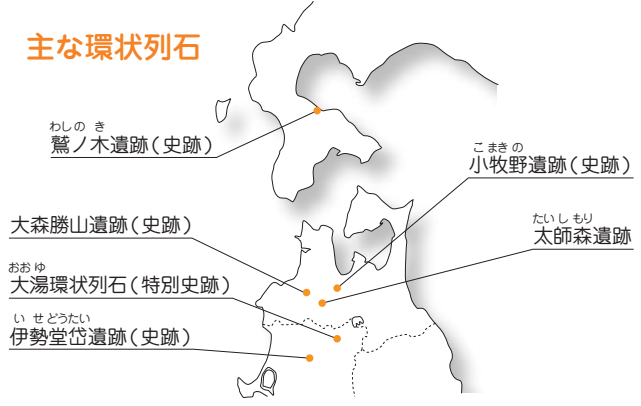


環状列石(ストーンサークル)ってなに？

大森勝山遺跡のような、直径数十メートルにおよぶ大型の環状列石は、縄文時代後期初め頃(約4,000年前)に、北東北から南北海道にかけて作られています。多くの環状列石では、作る前に自然の地形を作り替える土木工事を行ったり、石の下や周囲にお墓を作ったりしています。また、環状列石の周りに人はあまり住んでおらず、石を運ぶ時などに周りの村から集まってきて作ったようです。このような特徴は、約1,000年後の縄文時代晚期前半に作られた大森勝山遺跡でも見られます。

どうやら、環状列石は死者を弔ったり、祭りを行ったりする特別な場所だったようです。

主な環状列石



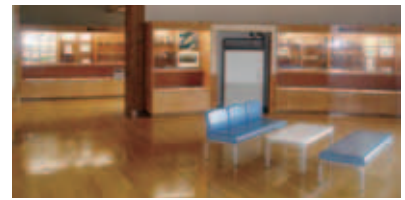
出土品の見学

大森勝山遺跡の環状列石が作られた縄文時代晩期は、美しい文様をもつ製品を作る文化(亀ヶ岡文化)が栄えた時期で、遺跡からも同じような文様を持つ土器が出土しています。出土品は下記の施設に展示されていますので、訪れてみてください。

- 裾野地区体育文化交流センター
- 藤田記念庭園考古館



出土した注口土器



裾野地区体育文化交流センター 展示コーナー

※開館時期等は「出土品展示施設のご案内」をご覧ください。

アクセスマップ



【史跡を見学されるみなさんへ】

- 児童のみなさんは、保護者と一緒に見学しましょう。
- 現在、環状列石・大型竪穴建物等の遺構は保護のため埋め戻されています。
- 史跡の駐車場へは、農作業車優先の農道を案内標識より1.2km進むこととなりますので、ご協力ください。また、スピードの出し過ぎ、乱暴な運転などはおやめください。
- 史跡内の見学は自由となっていますが、園路や柵などは整備されておりません。遺跡を散策される際には、転倒、急斜面・河川での滑落などに十分お気を付けください。
- 遺跡内は火気厳禁です。
- 周辺の農家の方々の迷惑となるような行為はおやめください。
- 大雨の時には河川が増水しますので、ご注意ください。
- クマ・ヘビ・ハチなどが出没するおそれがありますので、ご注意ください。

出土品展示施設のご案内

- 裾野地区体育文化交流センター(無料)
 - 【開館時間】 午前9時～午後9時
 - 【休館日】 月曜(祝休日の場合は翌日)
 - 年末年始(12/29～1/3)
 - 【TEL】 0172-99-7072
- 藤田記念庭園考古館(有料)
 - 【開館時間】 午前9時～午後5時
 - 【休館日】 冬期間(11月下旬～4月中旬)
 - 【TEL】 0172-37-5525(藤田記念庭園事務所)

お問い合わせ先
青森県弘前市教育委員会文化財課
〒036-1393
弘前市大字賀田一丁目1-1 弘前市岩木庁舎 3階
TEL 0172-82-1642



国指定
史跡

おもりかつやまいせき 大森勝山遺跡

三千年前の環状列石
ストーンサークル



大森勝山遺跡は、青森県内で最も高い岩木山のふもとにつくられた遺跡(昔の人の生活の跡)です。

全国でも珍しい約3,000年前(縄文時代晩期)の石を並べてつくった大きな環、環状列石(ストーンサークル)が見つかった遺跡です。

遺跡からは、環状列石のほか、同じ時代に作られた大型の竪穴建物跡、縄文土器や弓矢の先に付けられた鏃などの石器がたくさん捨てられた場所もみつっています。

森に囲まれた遺跡に立ち、環状列石(現在は埋め戻されています)とその後の岩木山を眺めると、縄文時代にタイムスリップしたような風景を感じることができます。

豊かな自然につつまれ、過去から現在へと大切に保存されてきたこの遺跡を、今度は現代の私たちが未来の人たちへと大事に伝えていかななくてはなりません。

みんなで弘前の歴史と遺跡の大切さを学ぶため、遺跡を訪れてみましょう。

どうやって作ったのか
考えてみよう



真上から見た環状列石(平成19年撮影)

約1,200個の石を並べてつくられた大きな環で、上空から見ると楕円形をしています。長い方の直径が48.5メートル、短い方が39.1メートルあります。石は大きいもので約1メートルもあり、縄文人はどのようにして運び、ストーンサークルを作ったのか考えてみましょう。

現在は遺跡が壊されないよう埋め戻されています。

岩木山(1,625m)



空から見た大森勝山遺跡(平成19年撮影)



みんなの家と
比べてみよう



大型竪穴建物跡(昭和34年の調査風景)

地面を掘って作られた建物で、円い形をしていて、直径が13.8メートル、面積が約150平方メートルもあります。真ん中には、石で囲んだ炉(煮炊きなどに使用)が作られ、火を燃やせるようになっています。たくさんの人が入れる集会場として使われたのかもかもしれません。

現在は遺跡が壊されないよう埋め戻されていて、大きな凹地となっています。



ここが
入口だね



遺跡の入口に駐車場と説明板があります。

遺跡を見学される方は説明板右手の林を通り、台地へとお進み下さい。

なお、急斜面となっている部分がありますので、ご注意ください。

見学路

説明板

駐車場